

オリンピック種目になった空手 武道の学習

板橋法人会第9支部の社会貢献活動として、日本空手道建武館の篠田剛館長を講師のもと、板橋第七小学校体育館で、5年生6年生児童と父兄約80名を対象に武道の学習をしました。

最初は「武士道」のお話し。東日本大震災やアンパンマンなどを例に例え、自分が損をしても犠牲を払ってでも弱い人の味方になる大切さを、とてもわかりやすくお話してくださいました。

「心がまえ」や「礼法」を教わった後に空手の稽古をいたしました。最初は戸惑っていた生徒も元気よく「オス」と力強い返事で一生懸命稽古に励む姿は、とても凛々しく素敵でした。

次に実際に「板割り」に挑戦。一発で割れない生徒に対して、みんなから「ファイト！」「頑張れ！」という声援。割れるまで諦めずに挑戦する姿と割った後の大きな拍手に、とても感動いたしました。

5時間目6時間目の授業として行われた空手学習は、あっという間に時間が経ち、生徒の皆の心と体を鍛える時間になりました。

公益社団法人 板橋法人会

第九支部 支部長 姫野 祐子